

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%
保護者様： 19名回答、回答率 86%

職員の意見

○環境・体制整備

教室内に柱や壁で死角になるスペースが出てしまうが、あえてテーブルや荷物を置く事で児童が入らない様に工夫している。訓練室は広い空間を確保できているが、学習に取り組む時間や遊ぶ時間など状況に応じてスペースを区切り安全を図って対応している。

○業務改善

児童を受け入れる前にはミーティングを行い児童の課題点や支援方針の共有を行っている。他にも、児童の送迎後も当日の動きや児童対応などを相談する時間を設け、都度質の良い支援に繋げていくよう努めている。

○適切な支援の提供

月ごとにテーマを設定し、支援内容が固定化しないようにプログラムを立案している。活動内容も児童の特性や年齢に合わせて難易度をいくつか設定し、全員が参加出来るように実施している。個別課題も、児童のその時々の課題に合わせて、保護者とも共有しながらカリキュラムを用意し支援にあたっている。

○関係機関や保護者との連携

連絡帳への記載だけでなく、引き渡し時などにその日の様子を詳細にお伝えする事で連携を図っている。支援計画の更新面談だけでなく、家庭連携等も行い児童についての気になる部分を共有したり保護者からの相談にも対応出来るようにしている。

○保護者への説明責任等

緊急時に対応が必要な場合は速やかに保護者へ説明を行っている。事業所で新しい取り組みが実施される場合も都度お便りを配布するとともに口頭でも説明を行っている。

○非常時等の対応

毎月テーマを変えて避難訓練を実施している。地震・火事だけではなく不審者対応や季節に合わせた災害対策も、クイズや実践形式などで取り入れ、日頃から危機意識が持てるように支援している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

「スタッフ数が少ないように感じます。」との意見をいただいた。人員体制は法令上の基準人員以上の配置しているが、必要に応じて法人内の他事業所との連携強化をとる等安全を確保し、安心してご利用いただけるよう対策を行っていく。

○適切な支援の提供

「活動内容が工夫されているか」の項目については8割以上の保護者から「はい」という回答をいただけたため引き続き児童にあったプログラムを考えていきたい。中には「外で身体を動かす時間がほしい。」「個別の課題やSSTに取り組む時間を増やしてほしい。」等のご意見もいただいた為、次年度の療育活動に反映させていく。

○保護者への説明等

多くの保護者から「はい」という回答を頂けたが、「いいえ」「どちらともいえない」と回答された方もいた為、送迎時などには児童の様子を適切に伝えられるように対応していく。また、家庭連携を定期的に行っていく、ご家庭との共通認識が得られるように努めていく。

○非常時等の対応

非常時の対応について「どちらともいえない」「未回答」の回答を複数いただいたため、保護者への周知・説明方法を改めて、ご理解頂けるようにしていく。

○満足度

「学校の行き渋りがあったが精神面でサポートしてもらえた。」「通所後は笑顔で帰ってくる。」「様々な声掛けや工夫をしていただき前向きに通えている。」等のご意見をいただけている一方、「子どもの成長に伴って、保護者の送迎が難しくなるため送迎をお願いしたい。」等のご意見をいくつかいただいている為、送迎ルートの見直しや時間の調整を行いつつも保護者にも現状をご理解いただけるよう説明を引き続き行っていく。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・ブログの定期的な更新。
- ・オンラインも活用しながらの保護者との定期的な情報共有を行う。
- ・定期的な職員ミーティングの実施。
- ・他教室とのミーティングの機会を作り、連携を強化する。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・設定した曜日には必ず職員ミーティングを行い情報共有できた。また、支援後にも相談する時間を設けた。
- ・研修を他教室とも実施することで連携を図ることができた。
- ・保護者とは、半年に一回の面談以外にも、家庭連携を通じて児童の課題を確認し、支援に反映出来た。
- ・ブログの更新が出来ていなかった為、スケジュールを見直し、職員同士で協力しながら計画的に進めていく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

・定期的に教室スタッフ間でミーティングを行うことで、療育活動が固定化されないようにプログラムを組むことができた。個別課題についても、保護者からのニーズを聞き児童に合わせた課題を設定することができ、多くの利用者から好評いただいた。

○改善点

・コロナ禍において保護者会等を実施できていないこともあり、教室環境に関する回答は「わからな」といった意見が多かったため、保護者にも教室の様子が伝わるように日々の引き渡し時の説明や連絡帳への記載をより丁寧に行えるように心掛けていく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・課外活動を取り入れられるように検討する。
- ・教室の様子が保護者へ伝わるようにしていく。
- ・適切なスタッフ体制を保てるようにしていく。

○1年間で取り組む具体策

- ・コロナ禍においても課外活動を安心して実施できるように、感染対策を徹底したうえで機会を増やしていく。
- ・保護者へ教室の様子が伝わるように、日々の引き渡し時の説明や連絡帳への記載を丁寧に行えるように心掛けていく。また、ブログの更新時期と担当者を決めることで教室内での取り組みがわかりやすいようにしていく。